

# 『癒しの小径』に香りをプラス

富士山の麓、御殿場市の景観重点整備地区に選ばれた東山の我が家は、富士山絶景の道にも近く、東山旧岸邸・とらや工房・コミュニティーセンター・児童広場・にも隣接しています。

森の間の公道を無舗装のままにしてい、地元の人や観光客が木漏れ日を感じ、楽しみながら歩ける小径を『癒しの小径』と名付けました。住戸の通り沿いの生け垣に四季折々の香りの木を連続的に配置し、視覚、臭覚から癒しの効果をプラス。線的な香りの環境を創り出します。

地域（花の会、老人会、婦人会、椿の会等）の人々が自宅に植栽したくなるよう、まずは我が家の敷地の生け垣を残しつつ、四季を通じて香る木を混植し、植え替えます。そのことにより、香りの癒しの力が地域にも広がり、活性化をはかり、「みどり香るまちづくり」に繋がります。

日本ツバキ協会推奨の「香り椿」の生け垣を実現し、秩父宮記念公園から東山旧岸邸に向かう早春のお散歩道の両脇に、椿の花の色と香りをプラス。

地域の人々、観光客に香りの効果で心を癒し、疲労回復等安らぎを得ながら歩ける小径になるよう花を咲かせます。



『癒しの小径』の風景（現在）



写真提供元:  
一般社団法人日本植木協会  
一般社団法人日本ツバキ協会

樹種	本数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
香り椿	港の曙												
	港の春												
	港の華	150											
	香紫												
	香御前												
満月ロウバイ	5												
ジンチョウゲ	10												
オオヤエクチナシ	17												
水無月	30												
銀モクセイ	12												



完成予想図